

各種ISO取得をはじめ、多数の経験豊富な有資格者が高品質なサービスを提供

八洲電機グループでは、お客様の多様なニーズにお応えし、高品質なサービスが提供できるよう万全の体制を整えております。ISO14001、ISO9001の取得に加え、各種施工管理技士をはじめとした有資格者が多数在籍しております。

環境マネジメントシステムに関する国際規格であるISO14001を取得しています。



JQA-EM1677

- 登録事業所: 八洲電機(株)、八洲ファシリティサービス(株)、八洲産機システム(株)、八洲制御システム(株)、八洲EITテクノロジー(株)、八洲プラント建設(株)

品質マネジメントシステムに関する国際規格であるISO9001を取得しています。



JQA-QMA15798

- 登録事業所: 八洲電機(株)
中国インフラ課、
西日本エンジニアリング部西日本技術グループ



20001602 QM15

- 登録事業所: 八洲制御システム(株)
本社、本社工場、関西営業所、関東営業所、
中部事業所、中部事業所 板金工場

有資格者の状況(八洲電機)

資格者	資格	人数
建築士	1級	1名
技術士	電気・電子部門	2名
電気工事施工管理技士	1級 2級	135名 3名
電気通信工事施工管理技士	1級	11名
建築施工管理技士	1級	7名
土木施工管理技士	1級	11名
管工事施工管理技士	1級 2級	46名 2名
監理技術者	機械器具設置	15名
電気工事士	1種 2種	20名 23名
電気主任技術者	1種 3種	1名 8名
特種電気工事資格者	非常用予備発電装置	10名
自家発電設備専門技術者	据付工事部門	12名
危険物取扱者	甲種 乙種 丙種	2名 15名 2名
消防設備士	甲種 乙種	4名 3名

登録	登録番号	登録年月日
一級建築士事務所	許可番号 東京都知事登録第61249号 登録年月日 2021年12月5日	
事業許可関連		
特定建設業	建設業の種類 土木工事業、建築工事業、 とび・土工工事業、屋根工事業、 電気工事業、管工事業、 鋼構造物工事業、舗装工事業、 塗装工事業、防水工事業、 内装仕上工事業、機械器具設置工事業、 電気通信工事業、水道施設工事業	
	許可番号 国土交通大臣許可(特-2) 第5842号	
	許可年月日 2020年12月17日	
一般建設業	建設業の種類 消防施設工事業	
	許可番号 国土交通大臣許可(般-2) 第5842号	
	許可年月日 2020年12月17日	
電気工事業	通知番号 経済産業大臣み通第22001号	
	通知年月日 2010年1月13日	
高圧ガス販売事業届	届出番号 東京都知事29環改保高第6508号	
	届出年月日 2017年6月20日	

(2024年4月1日現在)



森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を採用しています。



VOC(揮発性有機化合物)などを含む湿し水が不要となる水なし印刷を採用しています。



環境対応型インキである「植物油インキ」を使用しております。



見やすく読みましがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

お問い合わせ先

八洲電機株式会社

〒105-8686 東京都港区新橋三丁目1番1号 ブランド戦略ユニット

TEL: 03-3507-3349 FAX: 03-3507-3966

<https://www.yashimadenki.co.jp/>



八洲電機グループ
コーポレートレポート
2024

経営理念

「信・愛・和」

信は、「社員と社会に信用・信頼される会社」

愛は、「社員と社会に愛される会社」

和は、「社員が協力・協調し、社会に貢献する会社」

経営ビジョン

クオリティの高いエンジニアリング力を通じ
社会に貢献するエクセレントカンパニーとして
サステナブルな未来を創造する。

CONTENTS

01	イントロダクション／トップメッセージ	19	マテリアリティ(重要課題)
03	トップインタビュー	21	環境活動報告
05	ビジネススタイル	23	人財の取組み
07	八洲ブランド ～3コア技術～	25	健康経営の取組み
09	事業概要	27	コーポレート・ガバナンス
13	主要グループ会社紹介	29	財務・非財務ハイライト
15	事業紹介	裏表紙	八洲電機グループの体制

代表取締役 社長 兼 COO

清宮 茂樹



「地球環境保全」と「持続可能な社会」への
貢献を通じて、企業としての
社会的責任を果たしてまいります。

当社グループは、「信・愛・和」の経営理念のもと、エンジニアリング力を活かし、お客様の多様なニーズに対応した製品・システム・サービスを提供する等、事業活動を通じた社会への貢献をはじめ、環境やSDGsの取組み等、持続可能な社会の構築に向けた活動を推進しております。

また、2024年度から新たにスタートした中期経営計画では、「未来志向でウェルビーイング経営を推進することで、エンゲージメントを高め、創立80周年を更なる飛躍の転換点(ターニングポイント)にする。」という基本方針のもと、様々な施策に取り組んでおります。

今後も当社グループは、事業活動をはじめ、環境技術分野における研究開発支援、地域貢献活動、ボランティア活動等、社会への貢献に向けた活動を推進し、持続可能な未来の実現に貢献してまいります。



Yashima

Next to your future

当社は、この目標に向かって、中期経営計画プロジェクトを中心に次のような施策を推進します。

中期経営計画プロジェクト

① 事業系戦略

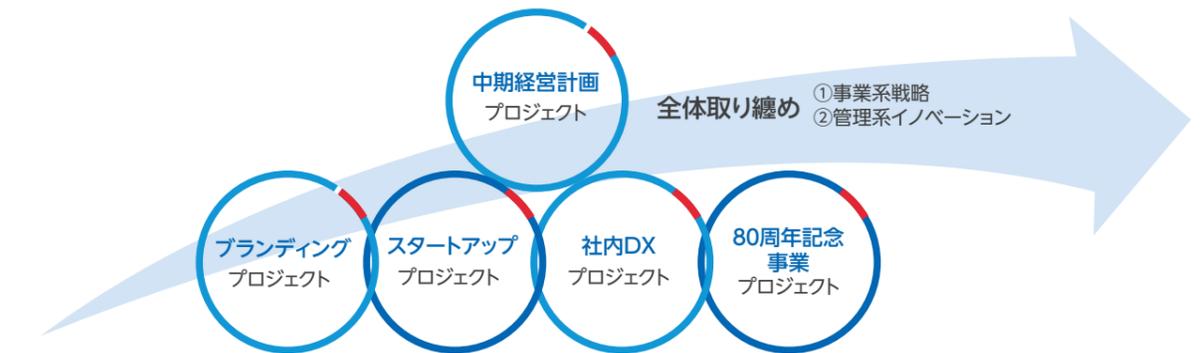
社会インフラに携わるお客様の経営課題を的確に捉え、エンジニアリングとグループ連携によって解決し、「収益の拡大」「事業規模の拡大」を図るとともに、躍進する「創立100周年」に向けた事業の基盤を構築する。

営業戦略

- ▶ 優良顧客開拓 ▶ 西日本地区の体制強化
- ▶ グループシナジーを高める

技術戦略

- ▶ コア技術の進化と成長
- ▶ DX推進で業務効率化



② 管理系イノベーション

管理系イノベーションでは、CSR統括本部、経営統括本部、管理統括本部の3統括本部7部門を、1統括本部6ユニットに統合・再編することで、事業部門とエンジニアリング部門に対するサポートをより一体的に行っていきます。

また、適材適所を実現する人事考課の改定を行うとともに、事業成長の原動力となる処遇制度の改定及び処遇改善を行ってまいります。

スタートアッププロジェクト

- 八洲電機グループ全体で一致協力し、自ら新規事業を創出して事業領域を拡大
- 「保守エンジニアリングセンター」を新設し、循環型ビジネス強化
- プロセス冷熱ビジネスを新たなコア技術として成長させる
- スタートアップの拡大を視野に入れたM&Aを検討

社内DXプロジェクト

- 最新の基幹システム導入による機動性ある業務への脱却
- 業務効率の改善・省力化を推進

80周年記念事業プロジェクト

- 創立80周年に向けて、お客様向けイベント等の記念事業を実施

ブランディングプロジェクト

- トップの強いリーダーシップによる意識改革
- ブランド価値向上による収益向上に貢献
- 八洲電機グループの持続的な発展、企業価値の向上
- エンゲージメント向上と社員の幸せの実現
- エンゲージメント向上のためのアウトターブランディング

ステークホルダーの皆さまへ

当社グループが、今後もステークホルダーの皆様を選ばれ続ける企業であるために、創業以来、当社グループの原動力である、社員一人ひとりが自らの能力を高め、その力を最大限に発揮することができる仕組みづくりに邁進し、持続可能な未来の実現に向けてグループ一丸となって取り組んでまいります。

ステークホルダーの皆様におかれましては、今後とも当社グループへのご理解、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



2023年度を振り返って

2023年4月に社長に就任してから約1年、様々な経営課題に取り組む中で、会社の方針や施策を社員にわかりやすく伝えることが、重要だと感じ、積極的に社員とのコミュニケーションを図ってきました。

また、ウェルビーイング経営に取り組むことで、社員のエンゲージメント向上を図り、「働きやすい、働きがいのある企業」を目指し、生産性の向上と業績の向上に取り組んできました。

当社グループを取巻く社会情勢を改めて振り返ると、デジタル化・脱炭素化の潮流により企業の設備投資は増加傾向にあり、景気は緩やかに回復する一方で、世界的なインフレや金融引締め懸念による景気の停滞感が強まるな

ど、依然として景気回復への懸念が残る状況です。

そのような中、当社グループは、グループのブランドである、3つのコア技術を活かしたエンジニアリング力を強化し、お客様のグリーン化(GX)投資、デジタル化(DX)投資、事業変革投資を取込み、社会課題やお客様の経営課題を解決し、事業規模の拡大を推進してまいりました。

これまで進めてきた成長戦略の各種施策や収益力の強化が着実に成果を上げた結果、当社グループは 前中期経営計画の2024年度最終目標である「連結経常利益35億円、経常利益率5.0%」を一年前倒しで達成し、2022年度に続き2023年度も上場以来、最高益を更新しました。

2024年度の取組み

今年度から、2026年度を最終年度とする新たな3カ年の中期経営計画「80/26中期経営計画」がスタートします。

このネーミングには、「創立80周年」となる「2026年」を更なる飛躍の転換点(ターニングポイント)とするというメッセージを込めています。

また、中期経営計画に合わせ、経営理念と経営ビジョンをブラッシュアップしました。

経営理念は、社員の成長・幸福を通して会社が成長し、社会に貢献することをあらし、経営ビジョンは、次なるステージへ向けて当社が目指す未来像・ゴールを示しています。

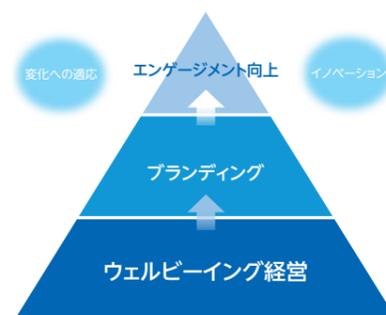
新しい中期経営計画をスタートするタイミングで、改めて「社員と共に成長し、社員を幸せにする。」という強い想いを込め、今回ブラッシュアップすることとしました。

「80/26中期経営計画」では、ウェルビーイング経営

80/26

を推進し、2026年度の目標値、売上高700億円、経常利益50億円、経常利益率7.1%を目指してまいります。

ウェルビーイング経営の推進で業績の向上を目指す



The Power of YASHIMA

ビジネススタイル

当社は、エンジニアリングで社会インフラに携わるお客様の経営課題解決に貢献します。経営課題を把握し解決するために、営業とエンジニアが連携して、コア技術・エンジニアリングフロー・コーポレートインで、お客様の環境・省エネ・高効率化等の多様なニーズにお応えします。

当社のエンジニアリング力を活かしたビジネススタイルについて紹介します。

エンジニアリングでお客様の**経営課題**を解決します!



コア技術

3つのコア技術で、お客様の多様なニーズにお応えします。

「電機制御システム」「電源システム」「空調システム」の3つのコア技術を八洲ブランドとして確立し、「安全」「安心」等を社会に提供します。さらに、コア技術を技術ソリューション力で進化・融合し、最適なソリューションを提供します。

※詳細はP7,8へ



コーポレートイン

専門技術者を常駐させ、お客様目線で最適なソリューションを提供します。

当社の専門技術者をお客様の事業所内に常駐させ、お客様の立場となって最適なソリューションを提供します。これにより、お客様のニーズや課題に対して迅速な対応を実現できます。



エンジニアリングフロー

様々な産業のお客様に一貫したサービスを提供します。

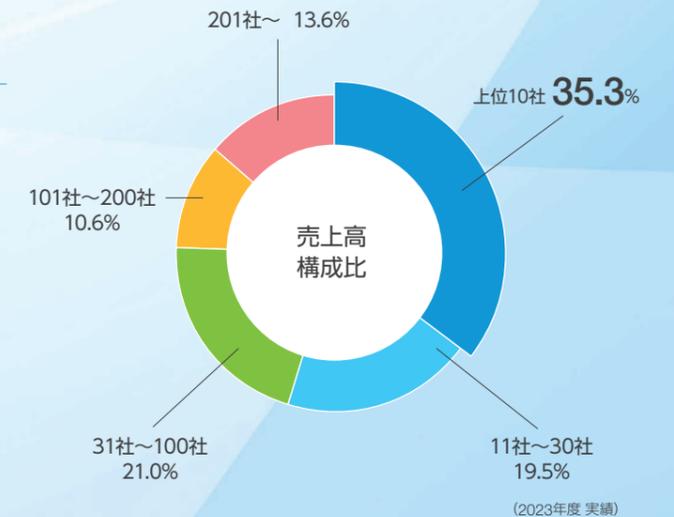
製品を販売するだけでなく、コア技術とともに、プレエンジニアリング・設計・製作・施工・試運転・保守サービスを一貫して提供します。



お客様基盤

鉄鋼、エネルギー、化学、医薬品、鉄道等のお客様と取引をしています。

創業以来、実績と信用を積み重ね、多数の企業のお客様と継続的な取引をしております。



安全と安心をソリューションで提供する 八洲電機グループのコア技術

八洲電機グループは、「電機制御システム」「電源システム」「空調システム」の3つのコア技術において、プレエンジニアリング・設計・製作・施工・試運転・保守サービスを一貫して提供し、お客様の多様なニーズにお応えしています。

3コア 技術



電機制御システム

鉄鋼・エネルギー・化学分野等のプラント設備構築に経験と専門知識でお応えします。

事業内容

PLC[®]の活用に強みを持ち、鉄鋼・エネルギー・化学等のプラント設備において、製品自動搬送システム・監視制御装置等の設備を提供しています。

当社エンジニアが制御プログラムを設計・製作し、制御盤はグループ会社で製作して、細かなニーズにお応えします。

また、長年培った技術とノウハウで、新旧設備の切り替え実績を積み重ね、設備の安全性・生産性向上に貢献しています。

※PLC:Programmable Logic Controllerの略、制御装置

ビジネスフィールド

鉄鋼・エネルギー・化学・非鉄金属関連のプラントや、公共水道施設、一般産業分野等

システム技術

- PLCシステム
- 製品自動搬送システム
- ドライブ装置
- 高圧ダイレクトインバーター
- 監視制御装置
- 計測制御システム
- 水処理設備等



電源システム

最適な電源ソリューションを提供し、電気の安定供給やカーボンニュートラルの実現に貢献します。

事業内容

特高・高圧受変電設備、非常用発電設備等で電気の安定供給とカーボンニュートラルの実現に貢献します。

当社のエンジニアが、プレエンジニアリングから一貫して対応し、お客様に最適な電源ソリューションを実現します。工事においても、技術力・現場ノウハウを活かし、設置環境に応じて、安全で質の高い施工を実現しています。

また、再生可能エネルギーで持続可能な社会の実現に貢献しています。

ビジネスフィールド

鉄鋼・エネルギー・化学・非鉄金属・医薬品等の工場、鉄道施設、オフィスビル・商業施設等

システム技術

- 特高・高圧受変電設備
- 配電設備
- 自家発電設備
- 鉄道直流変電設備
- 無停電電源装置
- 再生可能エネルギー
- 電力監視制御システム等



空調システム

専門的知識と高い技術力で、安全・安心・快適な環境をお届けします。

事業内容

ビル・工場の一般空調システムから、データセンターや医療・研究施設用クリーンルーム等の特殊空調まで幅広く提供しています。

プレエンジニアリングから一貫して対応し、メンテナンスにおいては国内メーカーのみならず一部海外メーカーにも対応しています。

省エネ・CO₂削減等の様々なニーズに応じた最適な環境構築に貢献しています。

ビジネスフィールド

病院・介護施設、大学・研究施設、工場、データセンター、オフィスビル・商業施設、鉄道施設等

システム技術

- 一般空調設備
- 冷蔵・冷凍室の低温設備
- クリーンルーム・バイオハザード対策施設等の特殊空調設備
- 冷熱源設備
- 圧縮空気設備
- データセンター用高顕熱空調設備等





プラント事業

Plant Business

鉄鋼・エネルギー・化学等の プラント分野に エンジニアリングで貢献

産業を支える大型プラント設備の
安定稼働やGX・DXの実現に
お応えしています。



上席執行役員
プラントエンジニアリング
ビジネスユニット長
三好 博文



産業・設備事業

Industry and Facility Business

医薬品・精密機器・ 建設・公共事業等の 幅広い業界に貢献

社会を支える公共インフラ企業や
製造業・建設業等の民間企業に、
安定した電気・クリーンで快適な空気
をお届けしています。



上席執行役員
インフラシステム
ビジネスユニット長
森本 憲司

事業内容

鉄鋼・非鉄金属業界への圧延ラインやプロセスラインにおけるPLCシステム・ドライブシステムを柱とした電機制御システムの構築、受変電設備の新設・更新、お客様のカーボンニュートラル実現に向けた各種ソリューションを提供しています。石油・化学業界に対し、よりハイレベルな安全・安定・高効率の操業を実現するため、各種機械設備、発電・受配電設備等の強電分野から、電気計装、監視制御などの弱電分野に至るまで、幅広いニーズにお応えしています。

● 主要取扱製品

電機制御、発電設備、電源設備、生産管理システム、省エネ・環境技術を活用したグリーン製品、これらに関わる保守・メンテナンス 等

業績推移 (2023年度)



事業内容

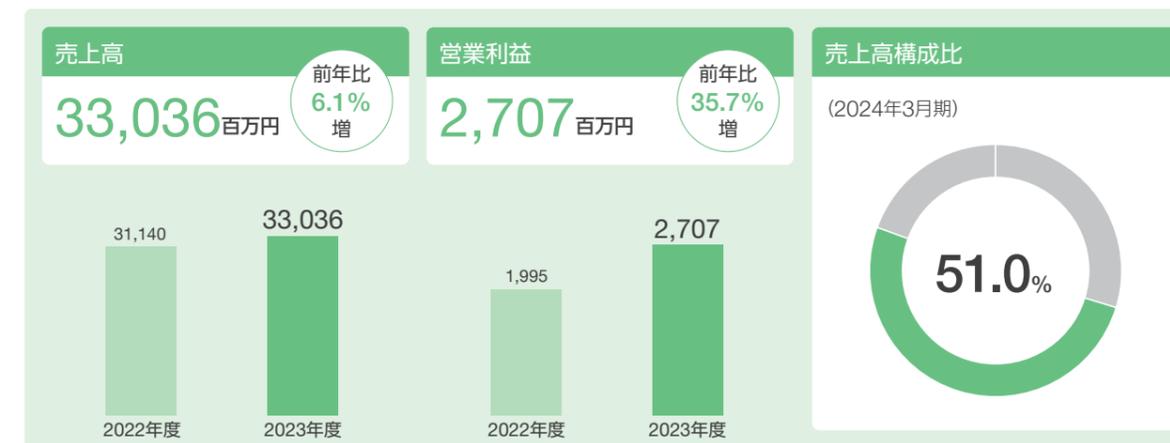
医薬品・精密機器製造業への受変電設備、空圧設備、空調・冷熱設備等のユーティリティ設備、産業機器全般及び情報・環境製品・システムを提供しています。

また、社会・公共システム分野では、上下水道・空港・公共施設への監視制御システム、受変電設備等を提供しています。さらに、通信・データセンター事業者へのサーバー用冷却装置、ビル・商業施設への業務用空調機やLED照明等、幅広いお客様へ各種サービスを提供し持続可能な社会の実現に貢献しています。

● 主要取扱製品

空調設備、照明設備、受変電システム、セキュリティシステム、これらに関わる保守・メンテナンス 等

業績推移 (2023年度)





交通事業

Transportation Business

鉄道業界の「車両」「変電」 「信号情報」「機械設備」分野に エンジニアリングで貢献

鉄道の安全・安定輸送を支えるとともに、
お客様の成長を支える
効率化ソリューションを提供しています。



専務執行役員
事業統括本部長 兼 交通システム
ビジネスユニット長
松崎 正

事業内容

鉄道の安全・安定輸送、サービスを支える車両や設備等の提供からアフターサービスまで幅広く対応しており、プレエンジニアリングから設計・製作・施工・試運転・保守サービスまで一貫して提供しています。また、鉄道事業者が運営している各種事業（不動産・ホテル・流通・福祉事業等）に、設備機器、情報・環境製品等を提供しています。

● 主要取扱製品

車両及び車両電気品、車両改造、鉄道受変電システム、鉄道信号システム、駅設備、車両基地設備、運行情報システム、これらに関わる保守・メンテナンス等

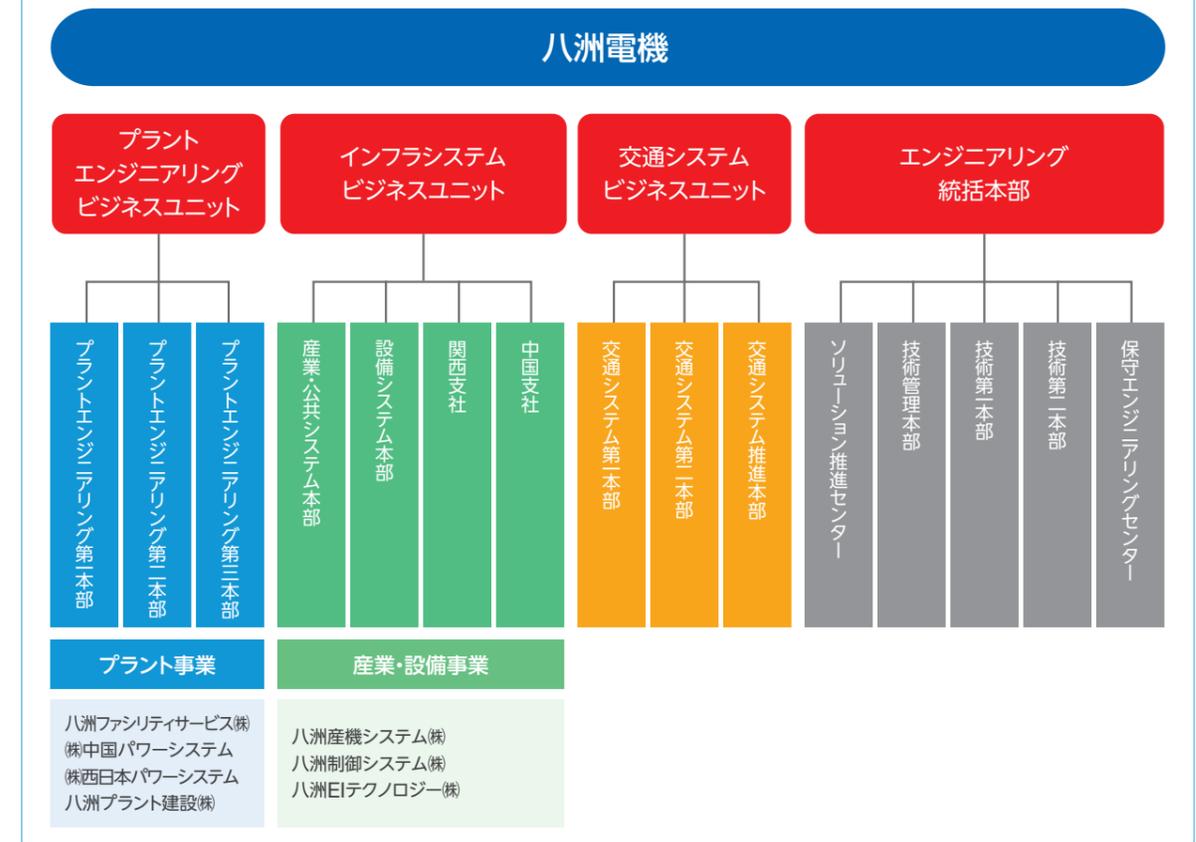
業績推移 (2023年度)



事業体制

八洲電機グループ一体でエンジニアリング会社として「事業規模の拡大」と「収益力の向上」に取り組んでまいります。

八洲電機グループの事業体制



● インフラシステム ビジネスユニットの再編

インフラシステム ビジネスユニットに直属する中国支社を新設し、産業システム本部内の中国インフラ課、設備ソリューション本部内の中国サービス課を移管することで、中国地区におけるインフラシステム ビジネスユニットの営業リソースを一本化し、体制を強化します。

また、公共事業の体制強化のため、産業システム本部を産業・公共システム本部に改称し、設備システム本部（設備ソリューション本部を改称）、関西支社、中国支社の四本部体制とすることで、更なる事業拡大、並びに拠点単位でのソリューション営業を推進します。

中国支社は、(株)中国パワーシステム、(株)西日本パワーシステムとの連携を強化するため、同社社長を兼務任用し、事業規模の拡大を推進します。

● 交通システム推進本部の新設

交通システム ビジネスユニット内に交通システム推進本部を新設し、今後の事業拡大が期待される情報通信・機械設備にかかるソリューション提案を管掌させ、交通システム第一、第二本部と連携して拡販に努めます。

● 保守エンジニアリングセンターの新設

エンジニアリング統括本部内に保守エンジニアリングセンターを新設し、電気保守・点検事業の立上げによる競争力の維持・向上、デジタル保守を付加することにより、お客様ニーズの多様化に対応します。

グループ会社とともに最適なソリューションを提供します。

トータルソリューション



八洲ファシリティサービス株式会社

保守サービス 空調・産業機器の修理・保守点検等の総合サービス

- 修理**
故障修理には関東エリアのサービスセンターより、メーカー認定を受けたクオリティーの高いサービスマンが、迅速に対応します。
- 保守・点検整備**
空調機・冷凍機・空気圧縮機・ポンプ・送風機等の定期メンテナンスにより、偶発的な故障を最小限に抑え、使用年数を延ばすことができます。



空調設備 空気圧縮機設備

八洲産機システム株式会社

産業電機機器 産業電機機器の販売・保守メンテナンス・工事

- 最適な製品を提供**
モーター・インバーター・空気圧縮機・電源設備、クレーン設備等の各種産業電機機器及びシステムの販売・保守メンテナンス・工事を提供します。
- 主要製品**
モーター・インバーター、ACサーボ・PLC、空気圧縮機、特別高圧(特高)受変電設備、変圧器、配電監視システム、ホイスト・クレーン、インクジェットプリンター等



産業電機機器製品

八洲制御システム株式会社

制御盤製作 空調・水処理・プラントシステム等の制御盤製造・販売

- 製造一貫体制**
制御盤の設計・製作・塗装・組立・検査に加え、監視システムのPLC設計・ソフト製作・検査まで監視制御システム分野でのソリューションを提供します。
- 制御盤設計・製作**
自動制御盤、動力制御盤、INV盤、計装盤電力監視、デマンド監視、中央監視制御盤等



本社工場 制御盤製作



電機制御システム



電源システム



空調システム

八洲EIテクノロジー株式会社

空調工事・情報技術 環境設備ソリューションと中央監視システム等の情報通信セキュリティーを融合したトータルエンジニアリング企業

- 空調システムと中央監視制御との融合**
ユーザー様の用途に合わせた省エネ環境設備と中央監視システムで快適かつ最適な運転を実現させ、CO₂の削減等カーボンニュートラルの実現に向けて取組んでいます。
- バイオ特殊空調システム**
医療・バイオ関連・大学・研究施設等のクリーンルーム及びバイオセーフティー設備分野で50年来培ってきた豊富なノウハウを活かし、プランニング・コンストラクション・メンテナンスまで総合的に対応します。
- セキュリティーシステム、情報システム**
ITインフラの設計から構築・運用・監視、セキュリティーと保守サービスまで提供します。



空調設備 バイオ特殊空調設備

株式会社中国パワーシステム

中国地区の電力会社に、火力発電機器の販売、保守・メンテナンス

1988年2月の設立以来、中国電力(株)様及びグループ各社様に向け、火力・水力発電設備及び受変電設備の機器販売及びサービスを展開しており、メーカーと一体となった営業活動を通じてお客様の経済的かつ安定的な事業推進に貢献しています。電力事業に求められる価値観の変化・多様性に対して新たな価値を提供し続けるため、八洲電機グループと連携を図り、取組んでまいります。



火力発電所

株式会社西日本パワーシステム

九州地区の電力会社に、水力発電機器の販売、保守・メンテナンス

2019年4月に営業を開始いたしました。九州地区にて水力発電設備の機器販売及びサービスを中心に営業活動を行い、お客様にとって最適なソリューションを提供します。



水力発電所

八洲プラント建設株式会社

電気工事 受配電設備、各種プラント設備の企画設計・施工

60年以上の工事実績と信頼
重電機器の据付・配線工事からスタートし、今では、重量物の搬入・搬出にも力を入れています。「特高・高圧受配電設備」「鉄道変電設備」「電力設備」「鉄鋼・石油プラント設備」「一般産業機械設備」「上下水道設備」「水処理設備」等において、専門的な技術と長年培ったノウハウをもとに現場調査、積算、企画設計、現地作業まで安全安心と合わせトータルソリューションで提供します。

対応分野
鉄道会社、公共施設、薬品会社、鉄鋼・非鉄、石油・化学、一般産業他各社



受変電設備 制御装置

プラント事業

Plant Business



耐久性を高める コーティングで 環境・省エネ化に貢献

あらゆる製造現場で使われる工具、部品等には、メッキ等の耐久性を高めるコーティングが不可欠です。日本コーティングセンター株式会社様の案件では、コーティング工程で重要な洗浄機用冷却設備を更新し、省エネ化を推進しました。



フリークーリングシステム

導入事例のご紹介

日本コーティングセンター株式会社様



日本コーティングセンター株式会社
常務取締役 製造本部 本部長 本社工場 工場長 岡部 信一様(右)
製造本部 本社工場 係長 吉田 重夫様(左)

日本コーティングセンターについて

日本コーティングセンターは、「お客様にご満足の頂ける技術のご提供」をモットーに、あらゆる産業分野にプラズマ技術を駆使した高性能・高品質・高精度のコーティングサービスを提供し、生産性の向上やコスト削減に貢献しています。

コーティングとは、お客様からお預かりした切削工具や金型、機械部品等の表面にわずかな被膜をつけることで、耐摩耗性や耐腐食性等を向上させる技術です。

当社は、その中でも、真空中でのプラズマ反応によって高硬度のセラミックコーティング膜を生成させる「イオンプレーティング法」を採用しています。イオンプレーティング法は電気のみを使用し、被処理材に適した温度でコーティング処理を行うため、熱による処理材の変形・変質をきわめて小さく抑える事が可能です。その一方で効果的な

コーティングをするために、事前に高温で製品の洗浄を行う必要があり、その洗浄設備の冷却にかかる電気使用量の多さが課題となっていました。

今回の案件では、多くの電気を使用する洗浄機用冷却設備の設備更新に加え、設備の省エネ化が重要テーマでした。

新たなシステム提案で効率化を実現

八洲電機さんには、高温になった洗浄設備を冷やすための冷却設備であるチラーユニットとクーリングタワーを一体化した省エネ効果の高い「フリークーリングシステム」を納入いただきました。このシステムを導入したことにより、特に冬場は洗浄設備の水をチラーユニットで冷却する必要がなくなったことで、既存の設備より電力消費量を30~40%に抑えることができ、CO₂排出量の削減につなげることができました。これまでの更新実績に加え、省エネ効果のコストシミュレーションをご提示する等の提案力、当社のシステムや製造工程をよく理解いただけていることについても評価しています。

今後の多角的テーマへの提案力を期待

当社は、2030年度のCO₂排出量を2013年度比で46%削減することを目指しています。省エネ化とともに、労働人口が減少傾向にある中で省力化も重要テーマであり、設備管理の自動化に向けて設備の稼働状況を見える化するDXへの取組みも必要です。こうした様々な課題について、八洲電機さんには豊富な知見を活かし、引き続きご提案いただけることを期待しています。

産業・設備事業

Industry and Facility Business



グローバルに需要が 拡大する医薬品の 製造設備の拡充に貢献

第一三共グループが新たに開発した医薬品は、多くの患者様が待ちわびる新薬だけに、安定供給は社会的使命です。第一三共ケミカルファーマ株式会社様の案件では、電気の安定運用の要となる受変電設備の導入、施工管理等を行いました。



受変電設備

導入事例のご紹介

第一三共ケミカルファーマ株式会社 小名浜工場様



第一三共ケミカルファーマ株式会社 小名浜工場
工務課 主査 電気計装チームリーダー 紺頼 良彰様

第一三共グループについて

第一三共グループは、世界中の人々の健康で豊かな生活に貢献することを目指し、多様なニーズに応える医薬品を製造・提供しています。第一三共グループのコンセプトである「サイエンス。それは、希望。」の通り、サイエンス&テクノロジーを駆使し新薬の開発・製造を行いながら、同時にサステナブルな社会の発展に貢献するよう日々精進しております。第一三共の前身である三共と第一製薬が培ってきた100年にわたる創業の歴史を礎として育まれた技術力を活かし、革新的な医薬品を継続的に創出するため、生産設備も継続的に増

強しています。小名浜工場においても新棟を建設し、生産設備の増強に注力しています。

工場設備への高い知見を活かした八洲の対応

社会的重要度の高い医薬品の製造ラインは、不測の事態においても停止が許されません。そのため、運用面や安全面で高規格な受変電設備等を導入し、停電に備えて自家発電設備も設置しました。加えて一部の医薬品は、冷凍保管が不可欠なため電源の安定供給が非常に重要です。八洲電機さんは、創業時から特高受変電設備のサポートをいただくなど、当工場の電気設備に高い知見があることから安心して工事をお任せできました。さらには世界情勢不安の影響で調達に1~2年かかる資材もある中、全体スケジュールを調整いただき、建設工期通りに新棟の受変電設備を納入していただいたことも感謝しています。

社会的役割を担う一員として 八洲との協働に期待

設備増強によって世界中の患者様に更なる薬の安定供給が可能となる一方で、人材の確保と教育、省力化等は継続的なテーマです。今現在八洲電機さんからは、メンテナンス時の人的負荷を軽減する設備管理システムをご提案いただいております。さらに、効率化や省力化につながるデータ分析などDX化への支援、そして他工場の設備工事の際にも八洲電機さんのサポートを期待しています。

産業・設備事業

Industry and Facility
Business

包括的な設備管理を実現するEFaaSの全国展開を支援

株式会社日立パワーソリューションズ様は、エネルギー管理・設備管理の業務を一元的に支援するエネルギー&ファシリティマネジメントサービス(EFaaS)を展開しています。八洲EIテクノロジーは、そのEFaaSスキームを採用した同社の勝田事業所クリーンルーム改修工事において、空調機器を更新しました。

導入事例のご紹介

株式会社日立パワーソリューションズ様



株式会社日立パワーソリューションズ
ソリューション事業推進本部 フロントエンジニアリング部
担当部長 信太 孝義様(右)
ソリューションビジネス営業部 ビジネス推進グループ
部長代理 橋堂 裕明様(左)

EFaaSを通じて経営資源をコア業務にシフト

国内企業は環境負荷低減が求められる一方で、設備老朽化や設備維持管理に関わる人員不足等の課題が顕在化しています。これらに対し、日立パワーが推進するEFaaSは、環境負荷低減へのエネルギー管理、設備等の改善計画の策定・実行などの設備管理、設備導入後の状況を監視するデータ分析等、一元的管理を実現します。また、オペレーションの改善、業務効率化を通じて、設備管理に関わる人的負担を減らし、経営資源のコア業務へのシフトを可能にします。さらにファイナンス面では、費用を平準化することにより、初期コストの抑制を図ります。

エンジニアリング力を強みとした八洲EIテクノロジーの対応

お客様によって省エネ対象となる設備等のニーズも様々なだけに、EFaaSを全国展開するには多様な協力企業との連携が不可欠です。今回、当社で最も電力使用量が多い勝田事業所の半導体クリーンルームにおけるCO₂を削減すべく、八洲EIテクノロジーさんと空調機器に関する領域での共同エンジニアリングを進め、EFaaSの手法を取入れ設備更新いただきました。八洲EIテクノロジーさんの強みであるエンジニアリング力を活かして、最新機器の選定、電気制御を含む据付工事、試運転も含めて一貫した作業を安心してお任せできました。

互いの強みを活かして協働し、お客様に貢献する

今後は、全国のお客様や日立グループ各社にEFaaSを展開し、エネルギーや設備管理の効率的運用を推進することで、各企業におけるカーボンニュートラルの実現を支援したいと考えています。そのためにも、八洲グループさんなどの様々な企業と互いの強みを活かしながらの協創により、全国のお客様や日立グループ各社の抱える課題解決に貢献してまいります。



交通事業

Transportation
Business

沿線エリアの活性化に向けて 新型特急「スペース X」 プロジェクトを取りまとめ

都心部への一極集中が進む中、沿線地域の活性化は鉄道会社が担う重要な社会課題です。東武鉄道株式会社様の案件では、新型特急「スペース X(エックス)」の車両と走行に関わる主要装置を受注し、車両全体を取りまとめる重要な役割を担いました。

導入事例のご紹介

東武鉄道株式会社様



東武鉄道株式会社
鉄道事業本部 技術統括部 車両部 車両企画課
課長 間仲 祥司様(右)
課長補佐 齊藤 洋平様(左)

新時代のフラッグシップ特急「スペース X」

33年ぶりにリニューアルした「スペース X」は、沿線最大の観光地である浅草・日光・鬼怒川エリアをつなぐ新時代のフラッグシップ特急で、インバウンドとの相乗効果とともに沿線地域の価値や魅力をさらに高めるべく、2023年7月に運行を開始しました。新車両は「多様性」と「日光の伝統的要素」を意識し、伝統工芸を取入れたデザイン、多様なニーズに応える全6種のシート、最新のLCD(液晶)ディスプレイなど、エクステリア、インテリア、パフォーマンスなど全てをアップデートしました。また環境対応の面では、最新のモーターや制御機器の導入、アルミダブルスキン構造による車体の軽量化により、従来のスペース Xと比較してCO₂排出量を最大40%削減しています。

技術面での知見を活かし、調整役として力を発揮

今回、八洲電機さんは特急車両を初めて受注されましたが、これまでの通勤車両等での実績を高く評価し、プロジェクト全体の取りまとめをお願いしました。当社と各メーカー間をつなぐ、きめ細かな調整力、車体前面の大きな窓ガラスの防汚・耐久性・視認性を高めるガラスコーティングなど、独自の提案力を発揮いただけたのも、鉄道に関する技術面への高い知見があったからこそだと思います。八洲電機さんなくして、ここまで立派な車両は完成しなかったと感謝しています。

DXなど新たな取組みでもパートナーとして期待

少子高齢化社会を背景に今後は、熟練者の退職に伴ってメンテナンス人員が減少するため、省力化や効率化に向けたデジタルトランスフォーメーション(DX)への取組みが重要なテーマとなります。八洲電機さんにはこれまでどおり車両新造・改造分野での連携、取りまとめを進めていただくとともに、DXを含む新たな取組みでもアイデアを出していただき、バランス感覚に優れたコーディネートをしていただけることを期待しています。



八洲電機グループのマテリアリティ

八洲電機グループは、マテリアリティ項目に対してリスクや機会を踏まえて取組みテーマを定めています。これらの取組みを着実に実行していくことで、目指す姿と中期経営計画目標の達成を目指していきます。



- 認定取得
 - ▶ 健康経営優良法人 ホワイト500
 - ▶ 健康優良企業「金」
 - ▶ スポーツエールカンパニー
- 教育体系に沿った教育・研修の実施
 - ▶ コンプライアンス研修 受講率:100%
 - ▶ 法務研修 受講率:100%
 - ▶ 安全衛生研修 受講率:100%
- 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画
 - ▶ 総合職の採用に占める女性割合を50%に
 - ▶ 柔軟な働き方の制度利用実績を80%以上に
 - ▶ 管理職の女性の人数を2020年度時点より2倍に
- 働き方改革
 ~働きやすい環境づくり、制度・しくみ計画~
 - ▶ ワークライフバランス
 - ▶ 長時間労働の是正
 - ▶ キャリア形成

Environmental Activity Report

サステナビリティ方針

八洲電機グループは、経営理念、経営ビジョンに基づき、社会課題の解決に取り組む、持続可能な社会の実現に向けてサステナビリティ経営を推進します。

- ① 環境に配慮した事業推進
- ② 環境問題への取組み
- ③ 個人の尊重
- ④ ガバナンスの強化
- ⑤ 情報公開の推進
- ⑥ 目標の設定

地球温暖化対策(2011年～2023年)総括

CO₂排出抑制貢献量の目標と実績

当社では、お客様に納入する機器製品、システム製品のCO₂排出量を基準年(2005年度比)と比較したCO₂排出抑制貢献量を報告してまいりました。2023年度の実績は、766,720トン(目標に対して126%)となりました。(下図)

今後は、サプライチェーンCO₂排出量算定へ移行を進めてまいりますので、2023年度報告をもってCO₂排出抑制貢献量の実績報告を休止いたします。

CO₂排出抑制貢献量推移(単位:トン/年)



TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)に基づく情報開示

ガバナンス

八洲電機グループは、ISO14001に基づいた環境マネジメントシステムを構築し、グループ全社員参加の環境活動を展開しています。当社代表取締役社長は、サステナビリティ方針を掲げ、年1回のマネジメントレビューで環境マネジメントシステムの有効性を評価し、当社グループの環境課題に関する実行計画の承認、モニタリング、課題の設定を行い、経営トップコミットメントによるサステナビリティ経営を推進しています。

リスク管理

八洲電機グループは、全社的なリスク管理推進にかかわる課題・対応策を協議する組織として、リスク管理委員会を設置しています。委員会構成メンバーは、当社代表取締役社長を委員長とし、関係部門責任者、社外取締役及び主要グループ会社社長で構成されています。

リスク管理委員会において、事業における影響評価の結果等を総合判定し、全社的なリスク管理推進にかかわる課題・対応策の承認を行い、連結ベースでの評価・モニタリング体制を構築しています。

関連するSDGs
ターゲット



公益財団法人 八洲環境技術振興財団 贈呈式を開催

34名の研究者に3,400万円を助成

八洲環境技術振興財団は、コロナ禍の影響により開催を見合わせておりました「研究開発・調査助成」贈呈式を、2024年3月1日、第一ホテル東京にて受賞者、選考委員、財団役員等合わせて約60名出席のもと、5年ぶりに開催しました。

助成について

環境技術分野における研究開発・調査について69件の応募があり、選考委員会による選考を経て34件を助成先として決定し、受賞者に助成金(1件100万円)を贈呈いたしました。
また、国際会議・研究発表会等の参加及びシンポジウム等の開催への助成については、8件の助成(1件20万円)をしております。2013年発足以来の助成累計は、328名、2億6,102万円となります。

贈呈式について

贈呈式では、落合理事長より挨拶の後、受賞される方へ研究成果の期待を込めてお一人ずつ握手のうえ、贈呈書が授与されました。また、2021年度に受賞された方の中から選出された2名に、研究成果報告をしていただき、式は終了しました。



2023年度 環境活動報告

7月 中国地区日立グループ会主催

「平和記念公園一斉清掃ボランティア」

当社の中国支社では、中国地区日立グループ会主催の原爆の日(8月6日)を前に行われる平和記念公園一斉清掃ボランティア活動に参加しています。

2023年度は7月に実施され、当社と八洲産機システム(株)、八洲Eテクノロジー(株)の社員が参加しました。



2月 大阪市環境局主催

「大阪マラソン〜グリーンUP〜作戦」

当社の関西支社では、大阪市環境局主催の地域清掃活動に参加しています。2023年度は2月に実施され、当社と八洲産機システム(株)、八洲Eテクノロジー(株)の社員が参加しました。



3月 東京都港区芝地区 総合支所 協働推進課主催

「芝地区グリーンキャンペーン 〜路上喫煙ゼロのまち!〜」

当社は、本社所在地である東京都港区芝地区主催の環境美化・保全活動「芝地区グリーンキャンペーン〜路上喫煙ゼロのまち!〜」に2010年度から毎年参加しています。

2023年度は、7月、9月、3月に参加しました。



関連するSDGs
ターゲット



Human Resources

人財育成及び社内環境整備に関する方針について

八洲電機では、人財の多様性の確保にとどまらない方針を策定していきます。

方針について

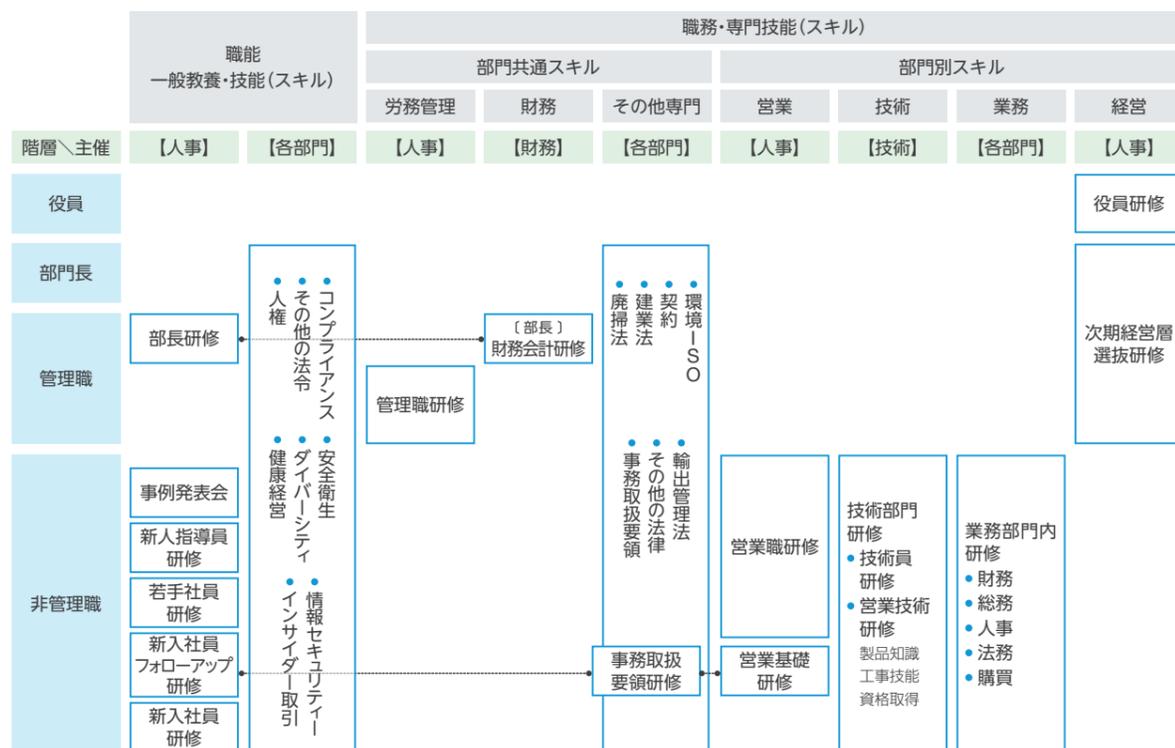
当社の事業は、お客様と取引先に対して付加価値を提供することで成立しており、その付加価値はすべて当社で働く人財に由来しています。

人財の育成は当社の持続的成長に不可欠であるとの認識のもと、以下の方針を策定して能力開発に関するプログラムを運用するとともに、社内環境を整備します。

● 人財育成及び社内環境整備に関する方針

- 1 当社人財に求められるスキルを整理し、職種別・階層別にプロットしたマトリックスをもとに、研修プログラムを確定し、実行します。その運用は、人財委員会において監督します。
- 2 多様性の確保については、まず女性の採用・登用を先行して進め、豊かな発想に基づいて事業を進展させるとともに、中途及びシニア採用を通じて多様な技能・経験を確保しその伝承に努めます。
- 3 社員はその従事する業務のプロフェッショナルであるから、労働時間と場所についてはその自主性を重んじる「柔軟な働き方」を原則とし、関係する制度及び環境を整備します。

八洲電機 教育体系図



Diversity & Inclusion

「ダイバーシティ&インクルージョン」について

当社のダイバーシティ&インクルージョンは、社員の数だけ存在する多様性が尊重される職場で、一人ひとりが能力を最大限に発揮し、生産性の向上につなげていくことを目的としています。

働き方改革 ~働きやすい環境づくり、制度・しくみ~

働き方改革へのあらゆる取組みを通じて、どのような境遇の社員でも効率的かつ働きがいのある職場づくりを実現し、社員、会社、社会が発展・成長し続けていくことを目指します。

ワークライフバランス

- 所定休日の拡大
- 年末年始休日の拡大
- 年次有給休暇の付与日数拡大
- 積立年休制度
- ジョブプリターン制度

処遇改善

- 育児休業早期繰上げ手当

環境整備

- シンククライアント(モバイルPC)
- スマートフォンの支給
- フリーアドレス
- サテライトオフィス

長時間労働の是正

- 全館20:30完全消灯
- 勤務間インターバル制度

柔軟な働き方

- スーパーフレックスタイム制度
- 直行直帰奨励
- 在宅勤務

キャリア形成

- 総合職への転換推奨
- キャリアチェンジ研修の実施

ダイバーシティ推進プロジェクト

本プロジェクトでは、2020年度に策定した「女性活躍推進一般事業主行動計画」に基づいた取組みの進捗確認、ヒアリング、分析、問題解決、次年度の取組み策定等の活動を行っています。

この行動計画のもと、女性活躍フィールドの一層の拡大を進めていきます。

【女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画】

期間	2021年4月1日～2026年3月31日(5年間)
目標1	総合職の採用に占める女性割合を50%にする
目標2	柔軟な働き方に資する制度の利用実績を80%以上にする 「フレックスタイム・在宅勤務・直行直帰」の制度・しくみを積極的に活用できる職場風土を醸成し、「生産性の向上」と「ワークライフバランス」の促進を図る
目標3	管理職の女性人数を2020年度時点より2倍にする

● 女性管理職比率(人数)

2021年度	6.6%(12人)
2022年度	8.0%(15人)
2023年度	8.5%(16人)

女性活躍推進ネットワークミーティング

ダイバーシティ推進の一環である「女性活躍推進」にスポットをあて、女性がやりがいをもって長期にわたり働くことができる職場環境づくりのため、「女性活躍推進ネットワークミーティング」を開催しています。

柔軟な働き方(スーパーフレックスタイム・在宅勤務・直行直帰奨励等)を活用し、自身にあった働き方をしながら、生産性の向上につながっているという声を聞く一方、周囲が利用していないので、利用しづらいという部署も一部ありました。

自ら働く時間や場所を選択して、ワークライフバランスを充実させながら生産性の向上を図る働き方を、全社に普及していくことが今後の課題です。



総合職女性対象ランチミーティング
2023年10月～2024年3月開催

関連するSDGs
ターゲット



Health Management

健康経営について

当社では、これまで従業員と家族の健康保持・増進のため、生活習慣病対策やメンタルヘルス対策等の各種施策に取り組んでまいりました。

より一層この取組みを強化するとともに「働き方改革」や「ダイバーシティマネジメント」と連携しながら「健康経営」を推進するため、八洲電機グループ「健康経営宣言」を制定し、以下の重点施策に取り組んでまいります。

健康経営宣言

当社は、「社員と社会に信用・信頼される会社」「社員と社会に愛される会社」「社員が協力・強調し、社会に貢献する会社」（「信・愛・和」）を経営理念に、経営ビジョンである「クオリティの高いエンジニアリング力を通じ社会に貢献するエクセレントカンパニーとしてサステナブルな未来を創造する。」ため、従業員が健康であること、そして健康的に働くことが、重要な経営課題であるとしてとらえています。従業員の健康を積極的に支援する健康経営の推進を通じて、組織の活性化や生産性の向上を図り、その先にある社会に貢献することを宣言します。

健康経営の取組み



2024

健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500



スポーツエールカンパニー2024認定
スポーツ庁より、健康増進に向けたスポーツ活動の促進への積極的な取組みが評価され、スポーツエールカンパニーに2021年～2024年と4年連続で認定されました。



健康優良企業「金」認定
健康企業宣言東京推進協議会より、健康優良企業「金」に2020年～2024年と5年連続で認定されました。

健康経営優良法人2024認定

経済産業省と日本健康会議が選定する健康経営優良法人（ホワイト500）に2019年～2024年と6年連続で認定されました。

健康経営推進体制



重点施策

- 職場の健康** ① 年間総労働時間のひとりあたりの更なる減少 ② 有給休暇取得率の更なる向上
- こころの健康** ① 産業保健スタッフ拡充による健康相談の利用促進
- からだの健康** ① 健康診断受診の推進 ② 運動機会の増進（運動習慣率の向上） ③ 喫煙者の減少

重点施策の実績と目標

職場の健康

- ① 年間総労働時間 ▶ 年間総労働時間のひとりあたりの更なる減少

	2023年度実績	2024年度目標
年間総労働時間	1,911時間/年(労働日数 237日)	1,870時間/年(労働日数 237日)

- ② 有給休暇取得率 ▶ 有給休暇取得率の更なる向上

	2023年度実績	2024年度目標
有給休暇取得率	64.6%	70.0%以上

こころの健康

- ① 産業保健スタッフ拡充による健康相談の利用促進

	2023年度実績	2024年度目標
ストレスチェック実施率	96.9%	100%

	2023年度実績	2024年度目標
当社の産業医・保健師面談者	49名	80名

からだの健康

- ① 健康診断受診の推進

■ 当社の健康診断実施率 100% (2023年度実績) ■ 当社のBMI適正体重維持者率 59.1% (2022年実績)

- ② 運動習慣率 ▶ 運動機会の増進（運動習慣率の向上）

	2023年度実績	2024年度目標
当社の運動習慣率	26.6%	27.0%

(1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している者の割合)

- ③ 喫煙率 ▶ 喫煙者の減少

	2023年度実績	2024年度目標
当社の喫煙率	27.4%	24.0%

財務データ

(年度)	2021	2022	2023
損益の状況(百万円)			
売上高	60,038	60,270	64,862
売上原価	48,617	49,022	52,058
売上総利益	11,421	11,248	12,803
販売費及び一般管理費	9,297	8,453	8,908
営業利益	2,123	2,794	3,894
経常利益	2,251	2,929	4,019
親会社株主に帰属する当期純利益	1,527	1,916	2,657
財政状態(百万円)			
資産	50,934	58,738	60,430
負債	27,888	34,346	32,931
純資産	23,046	24,392	27,498
収益性指標			
売上総利益率(%)	19.0	20.4	19.7
営業利益率(%)	3.5	4.6	6.0
自己資本利益率(ROE)(%)	6.9	8.1	10.3
総資産経常利益率(ROA)(%)	4.3	5.3	6.7
株価純資産倍率(PBR)(倍)	0.9	1.1	1.2
1株当たり指標(円)			
1株当たり当期純利益(EPS)	71.6	90.1	125.2
1株当たり純資産(BPS)	1,070.9	1,141.8	1,284.5
1株当たり年間配当金	22	25	28
設備投資・減価償却(百万円)			
設備投資額	1,667	169	229
減価償却額	438	451	442
キャッシュ・フローの状況(百万円)			
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,721	2,916	809
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 759	△ 1,487	848
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 298	△ 663	△ 848
フリー・キャッシュ・フロー	961	1,428	1,657
現金及び現金同等物の期末残高	10,567	11,332	12,142
株主還元			
配当性向(%)	30.7	27.7	22.4

非財務ハイライト

(年度)	2021	2022	2023
人事関連			
連結従業員数(人)	990	980	985
単体従業員数(人) ※以下は単体での指標	507	505	513
男性	405	401	401
女性	102	104	112
女性従業員比率(%)	22.1	22.6	24.3
女性管理職比率(%)	6.6	8.0	8.5
新卒採用人数(人)			
男性	8	9	9
女性	2	4	6
新卒採用者に占める女性比率(%)	20	30	40
キャリア採用人数(人)			
男性	1	1	4
女性	2	0	6
離職率(%) ※正社員のみ自己都合退職者(定年、逝去除く)	2.35	2.34	3.94
平均勤続年数(年)			
男性	18.5	19.0	19.2
女性	12.7	14.0	12.9
平均年収(円)	6,793,187	7,156,261	7,630,012
月平均残業時間(法定外)(時間)	17.24	18.80	17.86
有給休暇取得日数(日)	11.45	11.98	12.95
有給休暇取得率(%)	63.0	65.8	64.6
育児休業取得者数(人)			
男性	2	1	3
女性	1	4	3
育児休業取得率(%)			
男性 ※当社独自の育児休暇(特別休暇)を含む	57.1	91.7	83.3
女性	100	100	100
育児休業復職率(%)	100	100	100
育児短時間勤務利用者数(人)	9	9	9
障がい者雇用率(%)	3.06	3.24	3.48